

日本文藝研究

第五十九卷 第三・四号

季 刊

征夷大將軍源義仲と

入道前関白松殿基房

武久

堅 1

紀行『藤波の記』翻刻（下）

上野 洋

三 23

『西鶴諸国はなし』

における越境の意味

趙

心 如 66

明治二十年代における

「鎖国論」の多様性

大島 明 秀 86

——徳富蘇峰「明治年間の鎖国論」を中心に——

夏目漱石「明暗」論

高

鵬 飛 111

——主人公津田夫婦をめぐる人間関係について——

関西学院大学日本文学会

前
号
目
次

『梅松論』における「異朝」……………北村昌幸…1

——『太平記』との比較を通じて——

紀行『藤波の記』翻刻（上）……………上野洋三…19

編集後記

第五十九卷第三・四号をお届けする。合併形式の今号には前号を受けての翻刻を含め中世から近代までを対象とする五編の論考が集まった。早春の陽だまりにあるピラカンサスの植え込みの中を無心に飛び回る目白を目にして心が軽くなった時、意識の切れ目から成熟を待っていたものが顔を出すようにして学問上の鋭い発見の喜びがもたらされると言った数学者の岡潔の言葉を思い出した。ここに掲げる力作は何をどのような回路を経て発見しているか、学び取りたい。

(大橋)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公開のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇〇八年三月五日 印刷
二〇〇八年三月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第五十九卷第三・四号

〒六六二八六〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行者 細川 正義

発行所 日本文学会

〒六一五〇〇五 京都市右京区西院清水町一三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二一四〇一〇
FAX (〇七五)三二一四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。(振替〇二五〇一七六〇五八五 一年分(送料共)三、〇〇〇円)